

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スプリング		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 9日		～ 2026年2 月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 2日		～ 2026年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族支援を行っています。月1回ほど、保護者と最近の悩みや日常の様子を聞いて、必要な支援に繋がっています。その中で、ヘルパーやショート利用や学校送迎、土曜利用などの支援に繋が、安定した生活になるように各、関係機関と連携、情報共有しています。	面談や電話、メールなどで相談を受けたことをすぐに各、関係機関に繋げて連携し、支援に繋がっています。保護者が気楽に話せる関係作りが出来る様に、日頃から声かけ、挨拶や連絡、家庭訪問や面談を行っています。	年2回の親子発達支援やグループカウンセリング、個別カウンセリング、クリニック等にも繋がるように促し、暮らしの安定を図ります。
2	大人に安心して自分の気持ちを話せるように登園時などに声掛けや挨拶をし、肯定的に関わり、子ども達が話しやすい環境作りを心掛けています。子ども達が話してくれた悩みや相談は保護者にもすぐに伝え、不安を軽減し、情緒の安定に繋がります。	子ども達が学校の悩みや家庭での困り感を話せるように個別で話を聞く機会を設けたり、グループで子ども同士お互いにお話出来る活動も取り入れたりしています。	更に話してくれた内容で必要に応じて、保護者だけでなく、学校支援の職員や、学校関係者やきょうだい児の事業所の担任、各関係機関に情報共有します。
3	地域の学校と連携を行い、必要に応じて学校支援も行っています。また、学校関係者とも連携会議を行い、情報共有を行っています。	行事(運動会や学習発表会など)や特別授業(遠足等)など必要に応じて職員が支援に入り、子ども達が安心して参加出来る様に支え、見守っています。また、学校支援の職員とも連携し、学校での様子を伺っています。	学校とデイ、家庭の様子などを学校関係者や必要な各関係機関等と連携会議を行い、必要な支援の介入にも繋がっていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内の子ども達は事業所内だけの子ども達の関わりしかないと。交流関係が広がるベースが遅くなりやすい。	感染症対策などの特に気をつけなければならない時期は特に室内活動が多くなってしまふ。	地域の子ども達とも会える外活動や公園等や交流しやすくなる活動も考えていきたい。
2			
3			